



令和元年7月分 大分税関支署管内貿易概況

令和元年9月9日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は654.8億円、前年同月比6.6%減、5か月連続のマイナス

船舶類、映像機器、事務用機器などが減少

荷役機械、有機化合物、鉄鋼などが増加

輸入額は898.8億円、前年同月比4.1%減、2か月連続のマイナス

原油及び粗油、石炭、鉄鉱石などが減少

銅鉱、鉄鋼などが増加

主要品目

(単位:百万円、%)

輸出	価額	前年同月比	構成比	輸入	価額	前年同月比	構成比
有機化合物	8,450	132.0	12.9	鉄鉱石	11,573	78.6	12.9
鉄鋼	22,935	105.9	35.0	銅鉱	25,816	179.7	28.7
銅及び同合金	9,450	101.7	14.4	石炭	13,297	70.1	14.8
事務用機器	6,881	77.1	10.5	原油及び粗油	16,563	73.9	18.4
映像機器	4,583	63.4	7.0	揮発油	9,609	98.0	10.7
船舶類	5,012	50.5	7.7	液化天然ガス	5,304	83.0	5.9

港(通関官署)別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

- 大分)** 輸出は595.8億円、前年同月比9.8%減。船舶類が全減、映像機器、事務用機器などが減少、荷役機械、有機化合物などが増加
輸入は889.2億円、前年同月比4.6%減。原油及び粗油、石炭、鉄鉱石などが減少、銅鉱、鉄鋼などが増加
- 佐伯)** 輸出は26.1億円、前年同月比24.6倍。船舶類が全増、木材が減少、魚介類が全減
輸入は3.6億円、前年同月比43.4%増。植物性原材料が全増、魚介類が増加、植物性油かすが減少
- 津久見)** 輸出は32.9億円、前年同月比16.3%減。船舶類が減少、セメント、石灰石などが増加
輸入は5.9億円、前年同月比2.1倍。石油コーカスが全増、石炭が増加、アルコール飲料が減少

大分 輸出実績なし
空港) 輸入実績なし

港名(通関官署)

(単位:百万円、%)

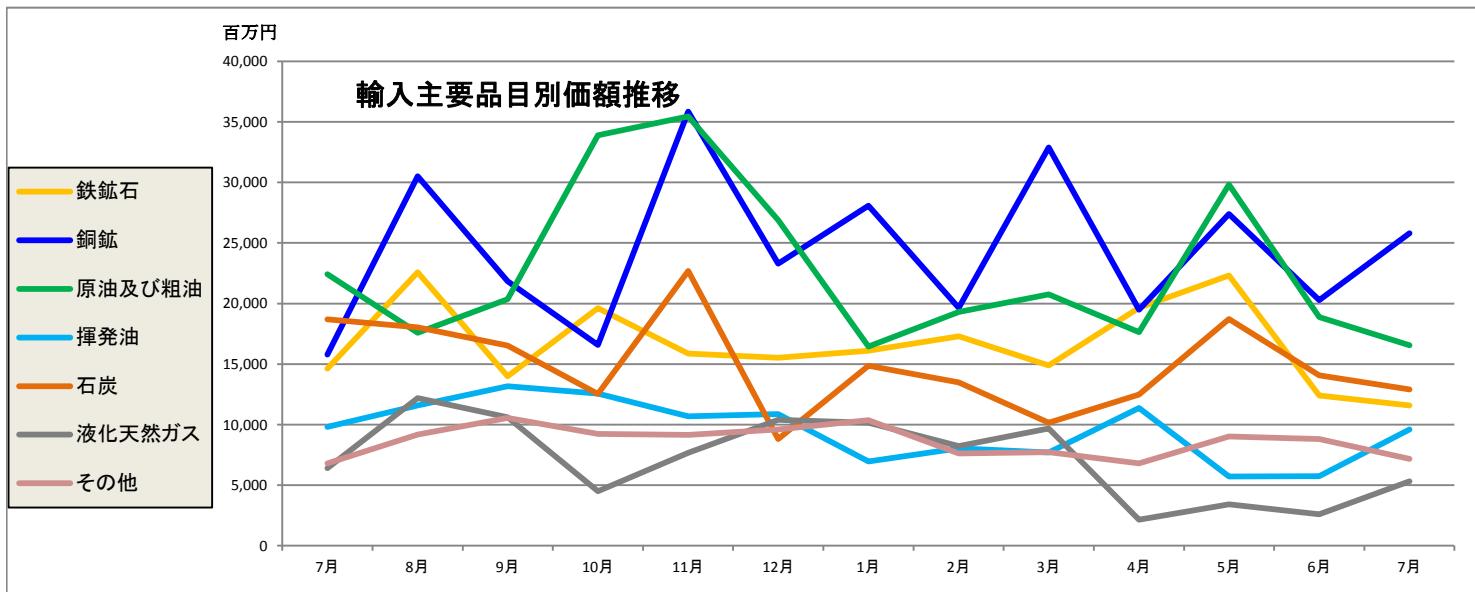
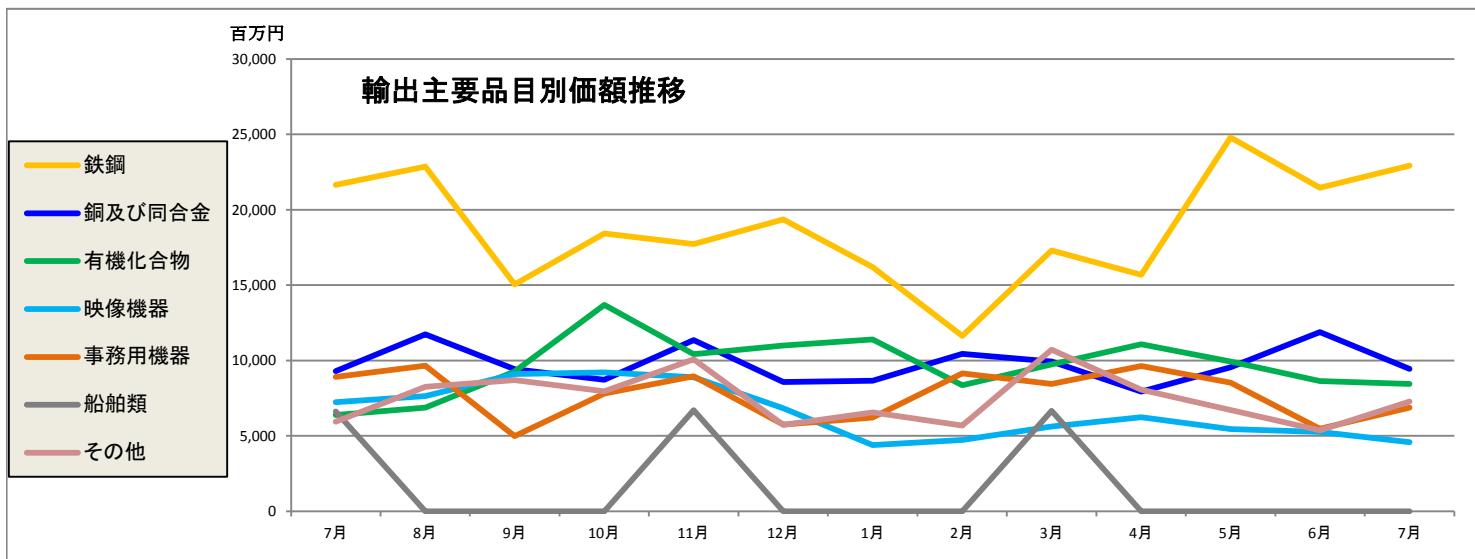
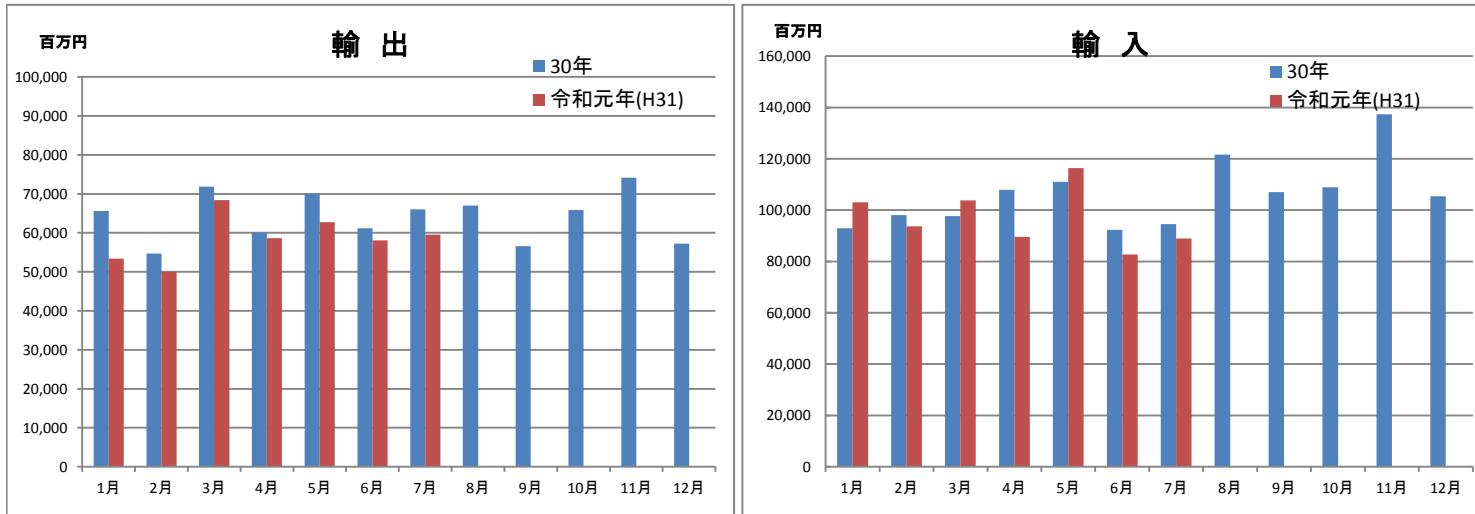
区分	輸出			輸入			差引額	
	価額	前年同月比		価額	前年同月比		出・入超	価額
大分(大分)	59,580	90.2	8か月連続のマイナス	88,919	95.4	2か月連続のマイナス	入超	29,339
佐伯(佐伯)	2,613	2463.5	3か月ぶりのプラス	365	143.4	4か月連続のプラス	出超	2,248
津久見(津久見)	3,290	83.7	2か月連続のマイナス	593	212.0	3か月ぶりのプラス	出超	2,698
大分空港(大分空港)	-	-		-	-		-	-
大分県	65,483	93.4	5か月連続のマイナス	89,876	95.9	2か月連続のマイナス	入超	24,393

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>